

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-128090

(43)公開日 平成9年(1997)5月16日

(51)Int.Cl.⁶
G 0 6 F 1/00
H 0 4 N 5/765

識別記号 410

F I
G 0 6 F 1/00
H 0 4 N 5/782

技術表示箇所
410
K

審査請求 有 請求項の数3 O.L. (全4頁)

(21)出願番号 特願平7-280585

(22)出願日 平成7年(1995)10月27日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 佐藤 泰弘
東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

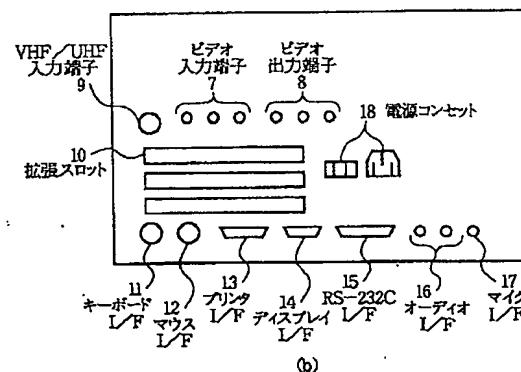
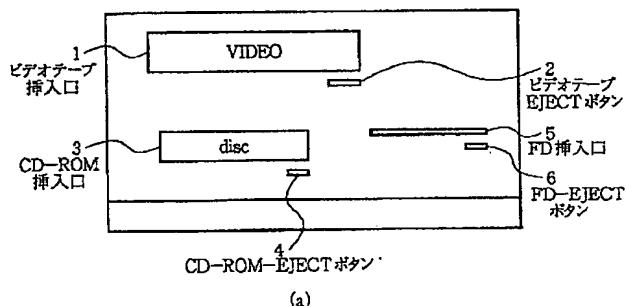
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 VTR一体型パソコン

(57)【要約】

【課題】 パソコンによるVTRの利用のための接続や設定の手間を省いて操作性を向上させる。

【解決手段】 従来のパソコンの機能はそのままに、さらにビデオデッキを内蔵する。このことにより拡張スロットも多く使用できるようになる。また、背面にビデオ入力端子7およびビデオ出力端子8を設置することによりもう一台ビデオデッキの接続が可能となる。ビデオデッキの操作には、Windows上で動作するソフトウェアを使用し、再生、早送り、巻戻し、録画など基本的な操作をウィンドウズ上のボタンを押すことで可能となる。また、VTRのタイマー部には常に電源を供給しタイマー録画が可能である。さらに、VTRをハードディスク内のデータのバックアップ用媒体としても利用できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ハードディスク備えたパソコンにおいて、VTRを同一筐体内に収めていることを特徴とするVTR一体型パソコン。

【請求項2】 前記VTRに前記ハードディスクのデータバックアップ機能を持たせることを特徴とする請求項1記載のVTR一体型パソコン。

【請求項3】 前記VTRを操作するソフトウェアを備えることにより、再生、停止、録画、早送り、巻戻し、一時停止の操作が行え、その画像を前記パソコンに接続されたディスプレイ上で見られることを特徴とする請求項1または請求項2記載のVTR一体型パソコン。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、パソコンに関し、特に、VTRをパソコン本体と同一筐体に収めたVTR一体型パソコンに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、パソコンでVTRを利用するとしても、ビデオボード、ビデオデッキ、接続コードなどを別に用意し、物理的な接続およびソフトウェアのセットアップを行わなければならない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 第1の問題点は、従来、パソコンでVTRを利用する場合、利用者自身が機器のセットアップを行わなければならないことである。その理由は、利用者がパソコン周辺機器の接続の知識が乏しい場合、セットアップは一つの障害となるからである。

【0004】 本発明の一つの目的は、VTRとパソコンを一体化することにより、利用者の手間を軽減させ、専用のソフトウェアを付属させることで操作性を向上させるVTR一体型パソコンを提供することにある。

【0005】 また、本発明の他の目的は、部品（筐体など）の共有もでき、コストの減少を可能とするVTR一体型パソコンを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明のVTR一体型パソコンは、ハードディスク備えたパソコンにおいて、VTRを同一筐体内に収めていることを特徴とする。

【0007】 本発明では、パソコンの筐体を従来より縦長にし、VTRの内部機器を同一の筐体内に収める。また、ビデオボードなども同様に内部に収め、VTRの挿入口は本体前面に配置し、ビデオ出入力端子およびVHF/UHF入力端子を本体背面に配置する。

【0008】 また、VTRを操作するものとしてパソコン上ではウィンドウズを動作させ、その上で動くVTR操作用ソフトウェアを利用するため、MS-DOS、MS-Windows 3.1 およびVTR操作用ソフトウェアをあらかじめ本体内蔵ハードディスクにインストー

ルしておく。

【0009】 VTRは一体化されているため、機器の接続などのセットアップは必要でない。

【0010】 また、VTR操作用のソフトウェアがあらかじめインストールしてあるので、パソコン起動後すぐVTRが利用できる。

【0011】

【発明の実施の形態】 次に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0012】 図1(a)、図1(b)はそれぞれ本発明の一実施の形態の前面、背面を示す外観図である。このVTR一体型パソコンの前面にはビデオテープ挿入口が設けられ、その下にビデオテープ取り出し用のビデオテープイジェクトボタン2が配置される。このVTR一体型パソコンの背面には、外付けでもう一台ビデオデッキを接続できるよう、ビデオ入力端子7が設けられる。また、VHF/UHF入力端子9も背面に設けられる。

【0013】 このビデオデッキを操作するのが、図2(a)、図2(b)、図2(c)に示すようなウィンドウ上で動作するソフトウェアである。このウィンドウは、起動直後は、図2(a)、図2(b)に示すような映像用ウィンドウと操作パネルウィンドウの2つからなる。

【0014】 映像用ウィンドウは、ビデオ装置から送られる映像を映し出す機能を持つ。操作パネルウィンドウは、ビデオの経過時間を表示するカウンタおよび、再生、停止、早送り、巻戻し、録画、一時停止の停止機能のボタンである再生ボタン22、停止ボタン25、早送りボタン23、巻戻しボタン21、録画ボタン26、一時停止ボタン24を持つ。

【0015】 また、パソコン本体の電源のオン/オフにかかわらず、ビデオ装置部分には電源が供給されている。

【0016】 次に、このように構成されたVTR一体型パソコンの動作について説明する。

【0017】 図2に示す操作パネルウィンドウのボタンはそれぞれ前述したような機能を持ち、利用者がこれらのボタンの上にマウスカーソルを移動させてクリックすることでビデオ装置はその動作をする。動作したビデオ装置からの出力映像信号はソフトウェアの映像用ウィンドウに映し出される。

【0018】 また、操作パネルウィンドウのメニューバーにある予約録画のメニューを利用者が選択することで、図2(c)に示すようなウィンドウが開き予約録画の設定が行える。ここで設定されたデータは、ビデオ装置のメモリに蓄えられ、ビデオのタイマー部のみ常に電源が供給されることで、予約時間になるとパソコン本体のスイッチが入っていなくてもビデオ装置のみ電源が投入され動作する。

【0019】次に本発明の他の実施の形態について説明する。

【0020】操作パネルウィンドウのメニューバーの「その他」の中に、データバックアップというメニューが設けられる。これを利用者が選択することにより、図3に示すようなウィンドウが開かれ、バックアップを行うドライブまたはディレクトリを利用者が選択することで、パソコン本体内蔵およびパソコンに接続されているハードディスクのバックアップを行うことができる。

【0021】

【発明の効果】第1の効果は、機器の接続の手間を省くことができるということである。これにより、初心者でも簡単にVTRをパソコンで利用できるようになる。その理由は、一体化させることで、利用者は何も、設定をする必要がなく、ソフトウェアもインストール済みなので、すぐ利用できるからである。

【0022】第2の効果は、ソフトウェアがウィンドウズ上で動くことである。これにより、初心者にも扱いやすいものとなる。その理由は、ウィンドウズ上のソフトウェアには基本的な操作に共通性があるので、Windowsの経験者にはマウス操作など慣れている点が多いからである。

【図面の簡単な説明】

【図1】

分図(a)、(b)はそれぞれ本発明の一実施の形態の前面、背面を示す外観図である。

【図2】分図(a)、(b)、(c)はそれぞれ本発明の一実施の形態における映像用ウィンドウ、操作パネルウィンドウ、予約録画ウィンドウを示す図である

る。

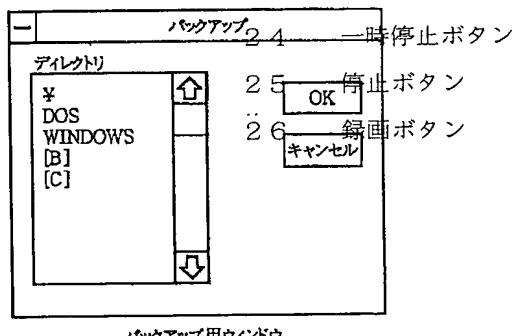
【図3】本発明の他の実施の形態におけるバックアップ用ウィンドウを示す図である。

【符号の説明】

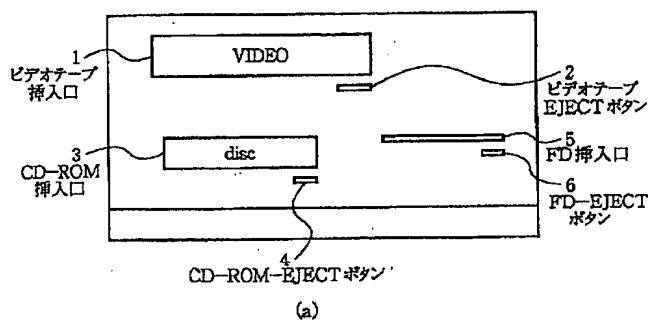
- 1 ビデオテープ挿入口
- 2 ビデオテープイジェクトボタン
- 3 CD-ROM挿入口
- 4 CD-ROM-イジェクトボタン
- 5 FD挿入口
- 6 FD-イジェクトボタン
- 7 ビデオ入力端子
- 8 ビデオ出力端子
- 9 VHF/UHF入力端子
- 10 拡張スロット
- 11 キーボードI/F
- 12 マウスI/F
- 13 プリンタI/F
- 14 ディスプレイI/F
- 15 RS-232C-I/F
- 16 オーディオI/F
- 17 マイクI/F
- 18 電源コンセント
- 21 卷戻しボタン

【図3】22 再生ボタン

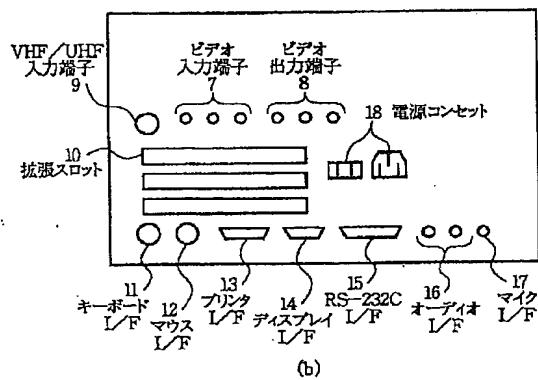
23 早送りボタン



【図1】

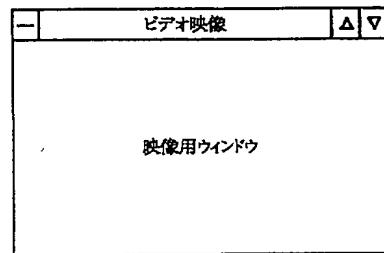


(a)

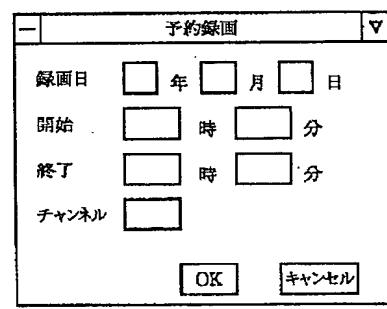
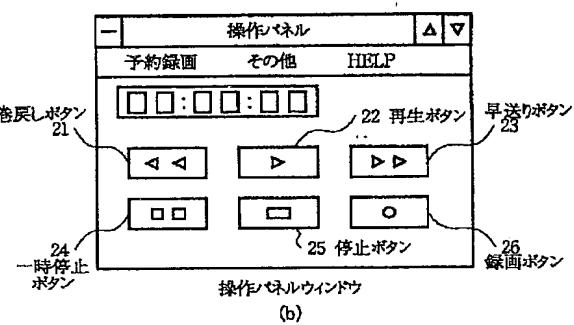


(b)

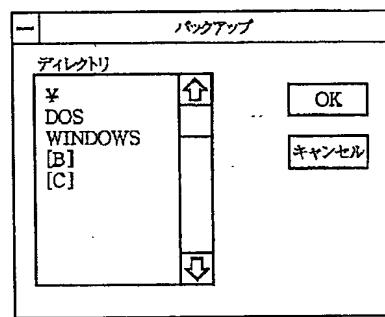
【図2】



(a)

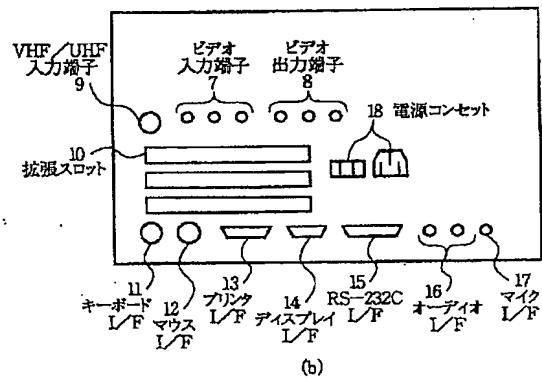
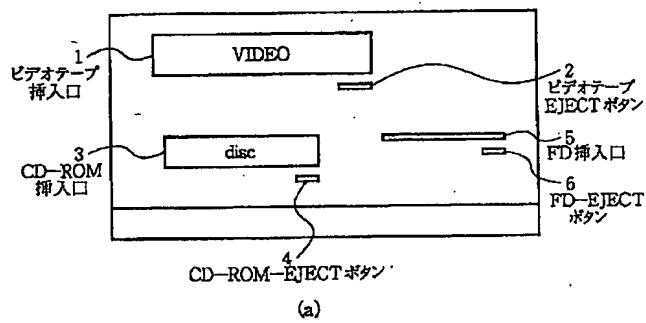
予約録画ウインドウ
(c)

【図3】



バックアップ用ウインドウ

【図1】



【図2】

